

会報

シルバー やまがた

第139号 令和2年7月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,131名 賛助会員 69個人・39団体(5月末現在)



出塩文殊堂あじさい参道 (広報部会撮影)

—— 内容紹介 ——

- | | | | |
|----|-----------------|------|-------------|
| P2 | 令和2年度 定時総会あいさつ | P6 | 安全・適正就業強化月間 |
| P3 | 令和2年度 表彰状受賞者 | | 新入会員紹介 |
| P4 | 令和元年度 事業実績報告 | P7 | わが街自慢 |
| | 令和2年度 基本方針と事業計画 | P8~9 | 会員のひろば |
| P5 | 令和2年度 定時総会の開催 | P10 | 事務局だより |

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索

令和二年度定時総会あいさつ

理事長 長瀬 洋男

令和二年度の定時総会は、今までにない形での開催となりました。新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、国の緊急事態宣言があり、「三密」を避けるため、できるだけ委任状を提出していただいて、総会の出席者を縮小しての開催とさせていただきますました。ご協力いただきました会員の皆様、賛助会員の皆様、並びに関係各位に感謝申し上げます。

世界では死者も多く、医療崩壊を迎えた国もあり、世界経済にもリーマンショックを超える打撃を与えることとなりました。日本の経済や雇用情勢の急激な悪化は皆さんもご承知のとおりです。

山形県でも六十九名の感染者が発生し、山形市では七名でしたが、幸い死亡された方はおりません。しかし、この新型コロナウイルス感染症は現時点では封じ込めることは難しく、感染の速度と規模を抑制する取り組みを、長期的に続けていく必要があります。

さて、令和元年度末の会員数は平成三十年度から八十九名増の千二百四十九名で、五年連続の増となりました。退会者も多くおりましたが、百万人達成計画の元年度の目標値を達成することができました。改めて会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

受託事業収益は四億六千百万

円を超えて六年続きの増となりました。派遣事業も受託件数が増え、受託収益は六百三十四万円と二割程度の増で過去最高額となり、その結果、経常収益と経常費用の差である当期経常増減額は、三百八十七万円余の黒字となりました。

今年度は、昨年度改訂した当センターの「中期事業計画」の初年度です。引き続き「自主・自立、協働・共助」を基本に、事業の質的向上と量的拡大を着実に推進してまいります。

また、厚生労働省の委託事業の「生涯現役促進地域連携事業」は、今年度から改めて「地域協働コース」を受託しましたので、市総合福祉センターに場

所を移して取り組んでまいります。

安全就業ですが、令和元年度は事故が二件発生してしまいました。引き続き事故ゼロを目標に、安全意識の徹底に取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

今年度は、当センターが昭和五十五年十月に高齢者事業団として設立されてから四十周年になります。今後も経済の悪化による当センター業務への影響が懸念されますが、会員の皆様の一一致団結したご協力により乗り越えてまいりたいと思っております。関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



令和2年度受賞者 おめでとうございます



1. 会員表彰 (52名)

会員として、5年以上在籍し、積極的に就業に励み、その業績が顕著であり、正副班長の推薦を受けた70歳を超えた方

地区名	氏名	地区名	氏名
第2地区	村田 せつ子	鈴川2地区	岡崎 五男
〃	中川 真知子	〃	佐藤 健治
〃	鈴木 利昭	鈴川3地区	高橋 廣子
〃	小林 敏子	〃	高橋 正弘
〃	斎藤 アキコ	〃	高橋 太通夫
〃	小林 勝彦	飯塚・樫沢地区	長橋 秀行
第3地区	田中 忠三	東沢地区	川島 富隆
〃	佐藤 勇	〃	神保 源太郎
〃	太田 貞雄	滝山1地区	本木 康晴
〃	石山 一美	〃	梅津 孝則
第4地区	武田 義晴	〃	結城 正夫
〃	工藤 和伸	〃	渡辺 健
〃	渥美 健治	金井地区	安達 つや子
第5地区	樋口 栄寛	〃	山口 重雄
〃	高内 博士	〃	渡部 俊夫
第6地区	久慈 正克	〃	志藤 喜久雄
〃	渡邊 恒夫	〃	竹田 芳明
第7地区	村上 宏治	〃	井上 隆
〃	秋場 徹	〃	遠藤 和子
〃	佐々木 重利	大郷地区	笹沼 勘四郎
西地区	棚橋 芳雄	山寺・高瀬地区	滝口 ひろみ
〃	高橋 英俊	〃	赤塚 正弘
第10地区	工藤 昭夫	楯山地区	折笠 一成
〃	笈掛 紀男	南沼原地区	山賀 ツヤ子
〃	加藤 三枝子	〃	大川 博美
鈴川1地区	大瀧 守	〃	黒沢 光男

令和元年度 事業実績報告

我が国における65歳以上の高齢者人口は3,500万人を超え、少子高齢化は進んでいます。景気は緩やかな回復基調が続き、雇用情勢も改善しておりました。しかし、昨年12月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に厳しい情勢に転じています。このような中でも、就業を通じて高齢者福祉の増進に寄与するシルバー人材センター事業の重要性は一層大きくなっています。当センターの会員数は、「会員100万人達成計画」に合わせて会員拡大に努め、平成30年度から89名増の1,249名になりました。事業実績は、請負事業で前年度対比13,408千円増の461,918千円となりました。派遣事業も前年度対比16,048千円増の92,371千円となり、過去最高だった平成29年度実績を上回りました。（詳しくは令和2年度定時総会議案書をご参照ください。）

令和元年度事業実績

項目	元年度実績	30年度実績	比較
正会員数	1,249人	1,160人	89人
契約金額	461,918千円	448,510千円	13,408千円
就業延人数	112,512人	110,685人	1,827人
受託件数	5,180件	5,062件	118件
派遣事業契約金額	92,371千円	76,323千円	16,048千円

令和2年度 基本方針と事業計画

山形市の高齢者人口は、令和7年には78,013人（高齢化率31.6%）に達すると見込まれ、高齢化はますます進むことが予想されます。シルバー人材センター事業の役割は重要性を増し、就業機会の拡大・職域の拡大と併せ、積極的な会員拡大を図ることが大変重要となっております。

安全就業については、昨年度は残念ながら2件の事故が発生しました。今年度も「安全は、全てに優先する」考え方を継続し、事故防止・安全就業の徹底に取り組んでまいります。

また、今年度より新たに策定した「中期事業計画」に基づき取り組んでまいります。

（事業計画や予算等、詳しくは令和2年度定時総会議案書をご参照ください。）

基本方針

1. 新入会員増と退会会員抑制の取組み
2. 会員の資質の向上
3. 就業機会の拡大と受注件数の増加
4. 派遣事業の推進
5. 会員組織の充実と活性化
6. 安全就業推進の強化
7. 公益社団法人としての機能強化
8. 経営の効率化と財源の確保



安全パトロール

令和2年度定時総会を開催しました

六月十日（水）、令和二年度定時総会を開催しました。政府や県の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る留意事項「イベント等の開催に関する基本方針」に沿って、最少出席者で行なうことを求められての開催となりました。ホテルメトロポリタン山形の会場は、感染防止策を施し、出席者は全員マスク着用で出席。

出席者十七名・委任状による出席が八四名と、合わせた出席者は八六三名となり、会員総数の七十六％に達し総会は成立しました。本木副理事長の開会あいさつ・長瀬理事長の代表あいさつの後、議長に金井地区の山口重雄会員が選出されました。

議事が進められ、五件の報告案件の報告と、二件の議案の審議が行われ、総会は滞りなく終了しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、表彰状の贈呈式は行われず、受賞者の方には、表彰状が自宅へ送られました。親睦会は自粛し、行われませんでした。



退任役員・新任役員紹介

退任理事 鞠子 克己

新任理事 渡部 正美

安全・適正就業強化月間

安全就業推進委員会 委員長 會田 健治

令和二年度スローガン
『いつまでも 働く喜び 無事故から』

平成二十八年より、事故ゼロを目標に事故防止活動に取り組んでまいりましたが、残念ながら目標を達成することができませんでした。本年度は会員各自が安全就業に対しての意識を持ち、ゆとりをもって安全第一を最優先課題と自覚し、就業先での事故やケガのない職場環境づくりが大切であると考えており

ます。そのために、各地区班及び職群班と連携協力を密にし事故防止活動に取り組んでまいります。さて、七月は「全国安全・適正就業強化月間」として一日〜三十日までの間、全シ協・各地区SCがそれぞれ連携し強化月間活動をしてまいります。

【取り組み事項】

- 1 安全就業推進委員会の開催
- 2 事故ゼロを目指した活動の推進
 - 定期パトロール、不定期パトロールの実施
 - 安全保護具の完全着用の徹底（安全帽・安全带等の装着）
 - 機械器具、安全保護具の点検整備
 - 緊急連絡カードの携帯徹底
 - 熱中症予防対策
- 3 安全意識の高揚策の充実
 - 安全標語の募集と優秀作品の表彰
 - 安全に対する体験発表会の開催
 - 「安全就業推進委員だより」の発行で事故防止の喚起
- 4 会員の健康管理意識高揚として
 - 総合検診受診の推奨
 - 新型コロナウイルス感染防止対策
- 5 就業途上における交通事故防止
 - 交通安全講習会及び交通安全対策の徹底
 - 自動車、徒歩、自転車、バイクでの事故防止の徹底

新入会員紹介

第一地区	森谷 智恵	出羽・明治地区	木村 満
第二地区	笠原 進	金井地区	東海林 秀子
第三地区	鈴木 美玉 星 八重子	大郷地区	佐藤 昭子
第四地区	谷口 和雄	山寺・高瀬地区	細谷 俊廣
第五地区	佐藤 吉和	蔵王地区	高橋 孝一
第六地区	小関 忠之	南部地区	吉田 守
第七地区	伊藤あつ子	西山形・本沢地区	荒木新二郎
第八地区	那須 達男	西地区	石山 定好
第九地区	遠藤 隆吉	清川地区	渡部 章彦
第十地区	伊藤 俊和	早坂地区	吉田 彦光
鈴川二地区	菊地 啓子	佐藤地区	深瀬千代江
鈴川三地区	狩野 貞子	南沼原地区	白畑 信子
東沢地区	佐藤 正三	白畑地区	白畑 直彌
滝山一地区	後藤 清隆	須田地区	須田 茂樹
清水地区	山川 清美	塩野地区	佐藤 陽子
恵子	清美	富田地区	塩野 芳則
		最上地区	富田 正美
		芦野地区	最上 和彦
		佐藤地区	佐藤 孝夫
		齋藤地区	齋藤 清子
		安達地区	安達 昭二
			孝義

楯山地区

折笠 一成

当地区は、山形市の北東部に位置し、立谷川と村山高瀬川の扇状地に形成、発展してきた。

「遺跡と泉の里たてやま」とも言われ、自然環境に恵まれた地域であります。

しかし、都市開発が進み、環境の変化は日進月歩であります。

昔から親しんできたのが、地域のシンボル「大岡山」（風間地区に位置し、標高は四〇一m、平成二十八年にやまがた百名山の一つに選ばれた）であります。

登山コースには、ユーモアある案内板が至るところにあり、笑いをさそいます。「便座移転で金貯まる」の裏には、「弁財天で金貯まる」があります。

ツツジ、ヒメサユリ、そして山桜等の花々も鑑賞できます。



大岡山山頂より

山頂には三吉大明神、近くには姥神様が立っており、眺望がよく市街地のビル群、遠くには朝日の連山や月山、葉山、そして澄みきった日には鳥海山をも望むことができます。

楯山小学校では、創立記念日に合わせ、五十年以上前から、大岡山登山を行っております。

地域紹介

わが街白慢



千歳地区

佐藤 清

長町を散策していると、あらためてこの辺りには長岡姓の多いことに気づかされる。商店・会社の看板、民家の表札にも数多く見受けられる。

最上時代、長町には家臣である長岡但馬守が居住していたことから、その子孫の方々が今も多く住いしていると聞く。慶長十九年（一六一四年）、

義光公の死去に際して但馬守は殉死したと伝えられているので、義光公に目をかけられ、信頼関係があったことをうかがい知ることができる。落合には落合伯耆守の館があり、地名の由来となっていることから、この千歳地区は山形城の北の要衝として重要視されていたのであろう。

慶応四年（一八六八年）の戊辰戦争のおりには、官軍からの出兵命令を受け、水野藩の首席家老・水野三郎右衛門が長町まで進軍したという。

このように山形市の歴史に度々登場するわが地区であるが、日本一の芋煮会で食される里芋の栽培地があることでもわかるとおり、肥沃な土壌に恵まれた農業地帯であることも忘れることはできない。

近年、当地区内や隣の地区に商業施設が次々にできたこともあり、生活に便利な住宅地としても認識されつつある。新旧の文化が融合し交差するのが、わが千歳地区なのではないだろうか。



万歳橋から千歳地区を望む

パソコン愛好会のご紹介



パソコン愛好会
佐藤 栄八郎

こんにちは！私たちシルバーパソコンクラブは、コンピュータを通じてさまざまな知識・技術を身につけるといいう理念を第一に掲げ、それに基づいてさまざまな活動を行っております。

その活動を通して、部員同士の交流を深め、強固な人間関係を築き、いづれ将来の活動に役立つものになると確信しております。

部室はいつでも開放しておりますので、お気軽に見学へいら

してくださいませ。

お金はいくら？ボランティアですから安いですよ！外部の先生を頼まず、会員内の経験者が先生となり、安い費用にて和やかに運用。見学者は無料です。気楽にご質問や相談もお寄せください。会費は、一人当たり年会費二千円と教材費実費で運営しています。

「知っている者が、知っている事を、知っているだけ教え合いい、パソコンについての操作の練習をしながら楽しく交流を深める」こと。更に「生き甲斐づくり」「健康づくり」「仲間づくり」を旨とし、地域社会に貢献していきます。

まだまだ新型コロナウイルスの感染者が増え続いており、緊急事態宣言もさらに延長されました。我々シニアは特に心配です。予防のマスクや消毒液は不足、検査にも問題、もし陽性になっても薬もなく、救急車でも受け入れる病院が不足との事。早く解決してほしいですね！

(五月七日現在の文章です)



私の散歩みち



滝山一地区
結城 正夫

私の住んでいる松山地区（滝山一）には、市民に愛されている名勝千歳山があります。千歳山の麓に焼き物の里の平清水、そこを流れる恥川はづしがわには由来がある。

それは藤原実方の娘（十六夜姫）が都から幾山河を超え、ようやく千歳山の麓にたどりつき、水辺に立って川面を見れば恥づかしいほどやつれていた姿だった。それまでは清水川という名であつたが、それ以後恥川と呼ぶようになったという。

川に沿って歩くと枝垂桜の平泉寺、最上三十三観音の耕龍寺があり、境内には阿古耶姫の硯石とされている岩もあります。千歳山正面山腹に千歳稲荷神社があり、この山麓の道路は江戸時代参勤交代の国道でありました。

また紅花商人が最上川を舟で漕上し稲荷大神に商売繁盛を祈



恥川にかかる桜

願し、紅花と共に都までの思いを民謡の紅花つみ唄にも歌われています。

そして阿古耶の松の千歳山萬松寺、阿古耶姫と松の精との悲恋物語、二人は峠で「ささやき」あつたので「ささやき峠」となり「笹谷峠」となったとされています。

私は、この歴史ある美しい街並みを散策しながら自然の移り変わりを楽しんでいます。

一年間仕事をして



滝山二地区
海鋒 博幸

駐車場・駐輪場管理業務の仕事をはじめから、五月で一年になります。仕事内容は、駐車・

多員の

健康・趣味

私には高齢の母がいて、その世話と、所有しているアパート・別荘・貸事務所と実家の住宅の管理に手間がかかり、休日にも忙しくしています。

私は、若いころに県立四病院の経営と管理の仕事を行った事がありますが、その経験を活かし、将来的には業務の簡素化等に少しでも貢献できればと考えています。

シルバーとして仕事をして



滝山一地区
樋田 恭子

駐輪料金の精算、定期券・回数券の販売、場内の巡回・清掃等です。正午頃から勤務の中勤と、翌日の朝六時頃から勤務の前勤との二日間勤務のあとに、三日間の休みがあり、五日で一サイクルとなっています。その他に、二十日に一回の割合で午後六時頃から十二時頃までの勤務の後勤があります。これらの業務を、各班四名・五班体制の二十名で回しています。

私は、去年の春から町内会の役員を引き受けていますが、出勤日と町内会の行事が重なる日があつて苦慮しました。他の業務員の方に出勤日を交換してもらい、町内会の仕事も出来るようになり、感謝しています。

昨年九月にシルバー人材センターの企画の保育補助講習を受講して、シルバー人材センターの内容を知りました。講習で学んだ子供の気持ちや、命を預かる保育士さんの責任の重さを感じられ、とても貴重な学びの時間でした。今、私が出来る事はあるのかどうかを考えた時に、丁度養護老人ホームの朝食の配膳・清掃業務を紹介していただきました。早朝の時間帯で夜型の私は不安がりましたが、場

所が家から近い事と短時間に終わる事も選んだ理由です。もちろん家族の理解と協力があるから仕事が出来ます。自分の体力を過信しないよう慎重に丁寧に心を掛けています。仕事上でわからない事は、職員さんやリーダーさんがやさしく教えてくださるので、助けていただきながら仕事が出来ています。

入所されている方に「ご苦労さんね。」「お世話様ね。」と声をかけていただけるのは嬉しく、自然と笑顔になり心が和みます。今は、新型コロナウイルスの感染拡大で不安の毎日ですが、以前のように穏やかな普段通りの生活が待ち遠しく思います。

老イニモマケズ



第七地区
齋藤 隆

定年後の憧れだった晴耕雨読。宮沢賢治のように『下ノ畑二居リマス』とメモ書きをして牧歌人を気取るのも悪くない。

退職後、親父の畑を手伝い始めたはいいが、煩惱の多い凡人

には賢治の真似事などおこがましいことを直ぐに悟った。凡人はこういう悟りだけは早いのだ。「共助」など何処吹く風。暇とボケ防止。それに少しでも晩酌の糧になれば罪悪感も紛れる。そんな邪心から会員になった。

それからイオンのカート整理に就いて一年が経った。時には健康レベルを超える歩数を叩き出すが、お目当てのお菓子を手にした子供の笑顔には癒される。ある日、店内をジョギングする馴染みの老人から言われた。「今、お母さんを叱ってきた。君たちはお客さんを叱りにくいだろうから」と。カートに子供を危ない姿勢で乗せていた母親に注意をしたとのことだ。確かに怪我をしてからでは遅いのだ。安全第一のはずが、いざ注意となると、心のび太が顔を出す。

だが人間の成長に老若はない。『雨ニモマケズ』を借りるなら、「北にけんかやせしやうがあれは／つまらないからやめろといふ」そんな爺に成るべく、今は終活修行として、日夜カート整理にいそしんでいる。まさに「老イニモマケズ」なのである。

事務局だより

(協)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)23(6)47(6)47

新事務局職員紹介



嘱託職員

嶋倉 圭子

事務局紹介

常務理事兼事務局長

黒田 芳広

業務課長

菅野 千春

業務係

業務主任

平田 悦一

主任

原田 弘之

就業機会創出員

吉田 和志

嘱託職員

高橋 沙織

総務係

係長

斎藤 康子

嘱託職員

渡辺 初美

嘱託職員

嶋倉 圭子



配分金支払日

七月二十日(月)

八月二十日(木)

九月十八日(金)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

七月二日(木) 九日(木)

十六日(木)

八月六日(木) 十一日(火)

十八日(火)

九月一日(火) 十日(木)

十五日(火)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

七月八日(水)

八月五日(水)

九月九日(水)

※就業相談の受付は午後一時十五分からです。予約等はできませんのでご了承ください。

体調管理を万全に!

◆ 今年は新型コロナウイルス感染症対策として、外出時や就業時のマスク着用が基本になっているかと思えます。

気温の高い中でマスク着用は要注意です。周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクを外して休憩してください。

また、過日ご連絡しておりません通、会員ご本人・並びに会員のご家族(同居親族)等の関係者に万が一感染者が出た場合は速やかに当センターへご連絡ください。

シルバー人材センター事務局(平日)

六四七-六六四七

緊急連絡先(土日祝日・夜間・時間外)

〇九〇-六二五五-五三〇二

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

飯塚・榎沢地区

増田 喜裕さん(七十歳)

第四地区

長谷川徳治さん(八十歳)

あしがき

中国武漢で発生した新型コロナウイルスを対岸の火事と見ていたら、数か月で疫病神が山形へやってきて、想定外の言葉がぴたりする非日常生活を強いられることになりました。

緊急事態宣言から連休を挟んで外出自粛を余儀なくされ、花見や飲み会、イベント、芸術鑑賞などリフレッシュする機会がなくなり無味乾燥な生活が続きますストレスも相当に蓄積されているでしょう。

幸いに県内は沈静化しているのです、徐々に日常生活が回復していくと思われませんが、マスク姿や三密対策は常態化するでしょう。

広報部会は、取材を最小限にして編集会議も時短、迅速に行っております。構成はやや縮小してありますので、ご了承下さい。(S・K)